

セミナー「分かりやすい地震工学における模型実験技術」報告

平成19年8月24日（金）建築会館ホールにおいて、標記のセミナーが開催されました。プログラムと講師は以下の通りです。参加者は67名と多く、広い建築会館ホールの席もほぼ埋まりました。

【プログラム及び講師】

- 1) 実験技術全般の紹介：東畑郁生（東京大学教授）
- 2) 重力場の模型実験により得られる成果と応用技術：東畑郁生（東京大学教授）
- 3) 遠心載荷場による模型実験技術全般と適用事例：樋口俊一（(株)大林組技術研究所）
- 4) 建築物の振動台実験の事例と免震・制震技術：猿田正明（清水建設(株)技術研究所）

東畑先生には、まず、模型実験が地震工学の分野に応用されるまでの歴史の紹介に始まり、重力場、遠心場の実験の長所・短所など模型実験全般について総合的観点からお話いただきました。次に、重力場における模型実験による側方流動の実験事例をご紹介頂くと共に、相似則や模型地盤の作成方法、計測時の留意点など、豊富な実験経験に基づき様々な観点からお話し頂きました。樋口氏からは、遠心載荷装置を用いた実験技術について、遠心実験の理論、模型作成時・実験時の留意点、データ分析例など、遠心振動実験の全般を詳細に解説して頂きました。最後に猿田氏からは、建築物における振動実験の種類、振動台のしくみなどの解説に始まり、建築物の模型製作時の相似則の考え方、実物の免震・制震実験事例、免震構造物で観測された地震動の軽減効果など、建築物の振動台実験の基本から応用まで幅広い内容でお話し頂きました。

地震工学における模型実験全体を網羅したセミナーとなり、特に学生・若手研究者・技術者の方には大変参考になったと考えています。最後に、貴重な講演会を実施していただきました東畑先生、樋口様、猿田様に対し深く御礼申し上げます。



会場全体風景



東畑先生のご講演



樋口氏のご講演



猿田氏のご講演

(文責：事業企画委員会 張 至鎬 清水建設(株))